

## 七、友人のほとんどが創価学会員なので脱会できない

創価学会員として長い間過すごしてきた人は、友人のほとんどが学会員であることが多いようです。それは学会という特殊とくしゆな閉鎖へいさ集団けんしゆなればこそその現象げんしょうといえましよう。そのようななかにあつて、真の友人ならばあなたが脱会したいと思つている胸中むねちゆうを理解してくれるはずですよ。

しかし現在の創価学会員は、学会の洗脳せんのうによつて「創価学会を離はなれる者は裏切り者、恩知らず」との考えに凝り固まっていますから、あなたが脱会して法華講員になれば、学会内の友人は遠ざかり、陰かげであなたを中傷ちゆうしやうすることでしょう。しかし、このような人は、初めから真の友人などではなかったのです。

創価学会の脱会者に対する悪口わるくちや中傷ちゆうしやうは、他の会員を脱会させないための常套手段じょうたうしゆんなのです。

すでに脱会して法華講員になった人は、一様いちやうに「脱会して初めて創価学会の悪辣あくらつさが身に染みてわかった」と語っています。

日蓮大聖人は、

「悪友あくゆうは謗法ぼうぼうの人々なり。善友ぜんゆうは日蓮等の類たぐひなり」

(御講聞書おんこうもんしょ 御書一八三七頁)

と仰せられ、謗法の者は「悪友」であり、正法を信受する人こそ「善友」であると教えられています。「類は友を呼ぶ」という言葉もあるように、あなたが日蓮正宗の清浄せいじやうな仏法を信仰するならば、今まで以上のすばらしい「善友」ができることを確信してください。

また、あなたが今まで親したしくしてきた学会の友人を大切に思うならば、まずあなたが正しい仏法に帰依きえしたうえで、その友人を正法まっぽうに導みちびいてあげるべきです。それが仏法の道理に適かなつた真の友情なのです。